
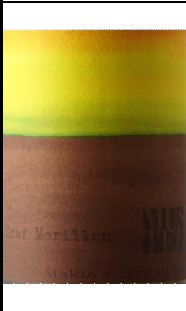










オーストリア南部ズエートシュタイヤーマルク、スロヴェニア国境に近いロイトシャツハ村に、マリアとセップ・ムスター夫妻のワイナリーがある。18世紀の地図にも記録が残るこの土地で、1978年に両親が畑を取得して以来、家族はブドウとともに歩んできた。幼い頃から畑の仕事を身近に見て育ったセップは、醸造学校で理論を学び各地のドメヌで経験を重ね、1990年に家業に加わる。1994年の事故を契機に人生観が揺らぎ、やがてバイオダイナミック農法と出会い、畑での実践へと向かっていった。

畑は冷涼な空気と地中海性の温暖さが交差する丘陵地にあり、石灰を含む泥灰岩土壌（オーポク土壌）が広がる。樹は自然な姿に近い仕立てで育てられ、土壌と植物の生命力を保つことが何より重視される。セラーでも野生酵母による発酵と木樽熟成を基本に、過度な介入を避けながらの時間をかけたワイン作り。彼らにとってワインは、数値で管理する対象ではなく、生きて変化し続ける存在である。人が前に出るのではなく一歩退き、土地と生命の働きを静かに見守る。その姿勢の中から、ワインの本来の個性が立ち上がると彼らは考えている。

2021	夏の多雨に続く九月は乾燥して暖かく、収穫の状態は理想的。完熟して上品な果実味。
2020	穏やかな夏、アロマティックで良質なワインができた。
2019	暑い夏に続いた穏やかな秋。健全な状態で完熟。エキストラクトの充実感。
2018	史上もっとも早い収穫。白は酸度が低くフォーカスが定まらないものが多いが、赤は凝縮して期待できる。
2017	豊作だがアルコール濃度が例年よりやや高く、酸度が低いワインが多い。
2016	遅霜と雹で収穫の8割がダメージを受けた。雨がちな夏の後、秋の好天に救われた年。
2015	2014年とは違い通常の雨量。雹害がひどく、収量は少なかった。
2014	大雨、病気、獣害、セップの醸造人生の中でも最も難しい年。アルコール度数が10%前後のものもある。
2013	他の地域とは違い、雨量は通常。8月に、雨がほとんど降らなかったが、特に問題は無し。
2012	雨量も通常で、収量も通常の良年。

○Opok オーポク			
	畑 品種：ヴェルシュリースリング、ゲルバー・ムスカテラー、ソーヴィニヨン・ブラン、モリヨン 植樹：1983~2002年 位置：標高430~480m 土壌：石灰、粘土シルト	醸造	手作業で収穫、除梗、压榨 木樽（容量約1200Lと2400L）で醗酵 約10ヵ月後に澱引きし、木樽（容量約2400L）で約12ヵ月間熟成
備考 この地域特有の石灰質の「オーポク」土壌で栽培される、主に樹齢20年前後の樹勢の強い若木の白品種から生産。 品種構成や比率は毎年変わり、毎年樹勢が強い樹から最初に収穫したブドウが選ばれる。			
○Welschriesling - vom Opok ヴェルシュリースリング フォム・オーポク			
	畑 品種：ヴェルシュリースリング100% 植樹：2001年 位置：標高430~460m、東向き 土壌：石灰、粘土シルト	醸造	手作業で収穫、除梗、压榨 木樽（容量約1200Lと2400L）で醗酵 約10ヵ月後に澱引きし、木樽（容量約1200L）で約12ヵ月間熟成
備考 この地域特有の石灰質の「オーポク」土壌で栽培される、主に樹齢20年前後の樹勢の強い若木のヴェルシュリースリングから生産。			
○Gelber Muskateller - vom Opok ゲルバー・ムスカテラー フォム・オーポク			
	畑 品種：ゲルバー・ムスカテラー100% 植樹：1990年代 位置：釜状の地形をした最大斜度70%にも達する急斜面 土壌：泥灰岩から成る粘土シルト	醸造	手作業で収穫、除梗、压榨 木樽（容量約2400L）で醗酵 約10ヵ月後に澱引きし、木樽（容量約2400L）で約14ヵ月間熟成
備考 この地域特有の石灰質の「オーポク」土壌で栽培される、主に樹齢20年前後の樹勢の強い若木のゲルバー・ムスカテラーから生産。			

	<p align="center">○Sauvignon - vom Opok ソーヴィニオン フォム・オーポク</p>			
畑	<p>品種：ソーヴィニオン・ブラン100% 植樹：2002年 位置：標高430~450m、畑の下部 1/3に位置する急こう配の箇所 土壌：粘土シルト</p>	醸造 <p>手作業で収穫、除梗、压榨 木樽（容量約1200Lと約2400L）で醗酵 約10か月後に澱引きし、木樽（容量約1200Lと2400L）で約12か月間熟成</p>	備考	<p>この地域特有の石灰質の「オーポク」土壌で栽培される、主に樹齢20年前後の樹勢の強い若木のソーヴィニオン・ブランから生産。</p>
	<p align="center">○Graf Morillon グラフ・モリヨン</p>			
畑	<p>品種：モリヨン(シャルドネ)100% 植樹：1984年 位置：標高440~450m、西向き、畑の中腹に位置する急こう配の箇所 土壌：石灰と粘土シルト、オーポクよりも岩石が多い</p>	醸造 <p>手作業で収穫、除梗、压榨 木樽（容量約225~1800L）で醗酵 約10か月後に澱引きし、木樽（約225~1800L）で約23か月間熟成</p>	備考	<p>「伯爵」を意味するドイツ語で、セップの農場を地元の人たちが昔から「グラフ」と呼んでいたことにちなむワイン名。土壌はオーポク・シリーズと共通だが、グラフ・シリーズは斜面中腹の樹齢の高くブドウ樹から。ワインはより深みと落ち着きを備えている。シュタイヤーマルク州では150年以上前からシャルドネが栽培され、オーストリアの中でもこの地のシャルドネは特にモリヨンと呼ばれる。</p>
	<p align="center">○Graf Sauvignon グラフ・ソーヴィニオン</p>			
畑	<p>品種：ソーヴィニオン・ブラン100% 植樹：1984年 位置：南西・南・南東向き、畑の中腹に位置する急こう配の箇所 土壌：石灰と粘土シルト、オーポクよりも岩石が多い</p>	醸造 <p>手作業で収穫、除梗、压榨 木樽（容量約225~1800L）で醗酵 約10か月後に澱引きし、木樽（容量約225~1800L）で約23か月間熟成</p>	備考	<p>「伯爵」を意味するドイツ語で、セップの農場を地元の人たちが昔から「グラフ」と呼んでいたことにちなむワイン名。土壌はオーポク・シリーズと共通だが、グラフ・シリーズは斜面中腹の樹齢の高くブドウ樹から。ワインはより深みと落ち着きを備えている。</p>
	<p align="center">○Sgaminegg スガミネック</p>			
畑	<p>品種：ソーヴィニオン・ブラン、シャルドネ 植樹：1984~1986年 位置：標高430~470m 土壌：石灰質を含む粘土に近いシルト質の泥灰岩を含むオーポクの岩石土壌</p>	醸造 <p>手作業で収穫、除梗 木樽（容量約1200L）で醗酵 木樽（容量約225L）で約23か月間熟成</p>	備考	<p>スガミネックSgamineggは「石の多い地面」を意味するスラブ語に由来する言葉。土壌はオーポクだが、斜面の上方にあるので、表土は少なくアルプスから吹き降ろす冷風にさらされている。この痩せた土壌に深く張った根と風が、比類ない骨格と複雑なアロマを備えたワインが生まれる。スガミネックの畑は葉の茂る時期になると、樹齢がほとんど同じでも、土壌の違いが葉の色に現れ、グラフ用のブドウ樹の葉はより明るい色をしている。</p>
	<p align="center">○Gräfin グレーフィン</p>			
畑	<p>品種：ソーヴィニオン・ブラン100% 植樹：2002年 位置：標高430~480m、南・東向き、畑の中腹に位置する急こう配の箇所 土壌：石灰、粘土シルト、オーポクよりも岩石が多い</p>	醸造 <p>手作業で収穫、約80%を除梗 木樽（容量約2400L）で約3週間マセレーション醗酵 木樽（容量約1200~2400L）で約23か月間熟成</p>	備考	<p>白ブドウをマセレーション醗酵したいわゆるオレンジワイン。グレーフィンはマセレーション期間が2~4週間と、エアデよりも短い。アロマティックかつ繊細でしなやか。グレーフィンとは「女伯爵」を意味する。</p>
	<p align="center">○Erde エアデ</p>			
畑	<p>品種：ソーヴィニオン・ブラン主体 モリヨン 植樹：1990年代 位置：標高430~470m 土壌：石灰質を含む粘土に近いシルト質の泥灰岩を含むオーポクの岩石土壌</p>	醸造 <p>手作業で収穫、半分除梗 木樽（容量約600L）で最長で12か月間マセレーション醗酵してから压榨 木樽で約20か月間熟成</p>	備考	<p>白ブドウをマセレーション醗酵したいわゆるオレンジワイン。エアデはマセレーション期間が最長で12か月間と、その期間はエアデを大きく上回る。</p>

	<p style="text-align: center;">● Rosé - vom Opok ロゼ フォム・オーポク</p>			備考	<p>植樹されたのは1983年と、温暖化がはじまる以前、この地域で赤ワインが珍しかった頃のこと。近年の温暖化で、赤ワインの質はどこも向上しているが、この地の冷涼さが繊細で複雑な個性に寄与している。果実の完熟が難しかった2014年に実験的に造られてから、毎年醸造されるようになった。</p>
	畑	<p>品種：ツヴァイゲルト主体、ブラウレンキッシュ、ブラウアー・ヴィルトパッカー</p> <p>植樹：1983年</p> <p>位置：標高430~450m、東向き、斜面の下部</p> <p>土壌：粘土質シルト</p>	醸造		
	<p style="text-align: center;">● Rotwein ロートヴァイン</p>			備考	<p>植樹されたのは1983年と、温暖化がはじまる以前、この地域で赤ワインが珍しかった頃のこと。近年の温暖化で、赤ワインの質はどこも向上しているが、この地の冷涼さが繊細で複雑な個性に寄与している。ワイナリーで栽培される3種の赤品種のブレンド。短いマセレーションで、親しみやすい果実味が特徴。</p>
	畑	<p>品種：ツヴァイゲルト、ブラウレンキッシュ、ブラウアー・ヴィルトパッカー</p> <p>植樹：1983年</p> <p>位置：釜状の地形をした最大斜度70%にも達する急斜面</p> <p>土壌：泥灰岩から成る粘土質のシルト</p>	醸造		
	<p style="text-align: center;">● Zweigelt - vom Opok ツヴァイゲルト フォム・オーポク</p>			備考	<p>植樹されたのは1983年と、温暖化がはじまる以前、この地域で赤ワインが珍しかった頃のこと。近年の温暖化で、赤ワインの質はどこも向上しているが、この地の冷涼さが繊細で複雑な個性に寄与している。グラーフ・ツヴァイゲルトと同じ畑で樹齢も同じだが、こちらは粘土質の重く石の少ない土壌の区画で、樹勢が強く果粒が大きく収量が多い（約3000~4000kg/ha）ため、素直な味わいのワインとなる。醸造手法は同じ。</p> <p>2015VTからZweigelt vom Opokに名称変更。</p>
	畑	<p>品種：ツヴァイゲルト100%</p> <p>植樹：1983年</p> <p>位置：標高430~450m、東向き、畑の下部1/3に位置する急こう配の箇所</p> <p>土壌：粘土シルト</p>	醸造		
	<p style="text-align: center;">● Graf Zweigelt グラーフ・ツヴァイゲルト</p>			備考	<p>「伯爵」を意味するドイツ語で、セップの農場を地元の人が昔から「グラーフ」と呼んでいたことにちなむワイン名。ツヴァイゲルト・フォム・オーポクの区画よりも石が多く粘土が少ないので、樹勢が弱く収量が低い（約2000~3000kg/ha）。味わいは複雑で熟成能力も高いワインとなる。</p> <p>土壌はオーポク・シリーズと共通だが、グラーフ・シリーズは樹齢が高く、深みと落ち着きを備えている。</p>
	畑	<p>品種：ツヴァイゲルト100%</p> <p>植樹：1983年</p> <p>位置：南西・南・南東向きの斜面</p> <p>土壌：石灰質を含む粘土に近いシルト質の泥灰岩を含むオーポクの岩石土壌</p>	醸造		
	<p style="text-align: center;">● Amphoren Essig アンフォーレン・エシッヒ（ワインピネガー350ml）</p>			備考	<p>グレーフィンや、エアデと同じ材質であるストーンウェアの容器350mlで瓶詰め。もともとはエアデを仕込むつもりで、製造されていたがお酢に向かってしまったので、熟成段階からお酢へと切り替えた。</p> <p>オレンジ~褐色、わずかに素焼きの土の香り、ほのかに心地よい酢の匂い。土を思わせる風味、バランスの良い凝縮した酸味。</p>
	畑	<p>品種：ソーヴィニヨン・ブラン80%、シャルドネ20%</p> <p>植樹：1990年代</p> <p>位置：標高430~470m</p> <p>土壌：石灰質を含む粘土に近いシルト質の泥灰岩を含むオーポクの岩石土壌</p>	醸造		